

令和7年度 福生市立学校 学校経営方針

学校名 福生市立福生第七小学校	校長名 菅野 恭子 公印
教育目標	
「学校を核として地域と共に子どもを育てる」という目標を学校と地域が共有し、連携・協働しながら、子どもたちが未来を切り拓くために必要な資質・能力を確実に育成することを目指して、次の目標を設定する。	
◎よく考え、進んで学ぶ子 「学習の基礎基本・課題解決能力」	
○明るく、おもいやりのある子 「コミュニケーション能力」	
○体をきたえ、がんばりぬく子 「体づくりに向けた実践力・豊かな人間性」	
1 目指す特色ある学校像	
様々な「ひと」・「もの」・「こと」とかかわり学ぶ、「本物体験」を通して ◇新しい時代を豊かに生きる力を育む学校…自分ごととして主体的に取り組む力の育成 ◇かかわり、つながり、高め合う、笑顔があふれる学校…心動かす本物体験 ◇地域の風が行きかう学校…CSを生かした、保護者、地域と連携・協働する課題解決	
2 学校経営の目標	
(1) 中期的目標	
①学力向上…カリキュラムマネジメントによる魅力ある授業づくり 学習の意味を見だし、自主的・主体的な学習の習慣を身に付ける。	
②魅力ある学校づくり…多様性の受容と尊重 協働・共感・共生 認め合い、励まし合い、それぞれの持ち味を生かし助け合う態度を養う。	
③健康な成長のために必要な生活習慣…人生100年時代に向けた体づくり 体力の増進や健康維持のための知識と実践力を育てる。	
(2) 本年度の目標	
①学びを身に付けるための学力の育成 ・個に応じた学び方を身に付け、主体的に学ぶ意欲を育てる。 ・基礎基本となる知識・技能を身に付け、学習や生活に生かす力を育てる。 ・積極的に「ひと」・「もの」・「こと」にかかわり、多様な考え方を吟味しながら、自分の考えをもち、発信する力を育てる。	
②自己有用感の増強 ・社会集団に所属する一員としての責任を理解し、多様な人々と協力して課題解決に向けて活躍できる力を育てる。 ・自他共に大切にし、望ましい関係性の中で自己実現に向かうことができる力を育てる。	
③日常的な健康増進 ・外遊び、運動の習慣化を目指す。 ・一斉健康診断を生かし、自分の健康状態に関心をもつとともに、改善・改良に向けた行動力を養う。	

3 目標達成に向けての課題

① 学力向上

- ・発達段階に応じた理解力、表現力等を支える言語理解力
- ・基礎基本の積み上げと、知識・技術の汎用化（活用力）
- ・教員の授業力の向上のための、個に応じた研修の機会の設定

② 魅力ある学校づくり

- ・個に応じた活躍の場の設定
- ・保護者、地域への教育活動の周知と共有、保護者の参加・参画
- ・教職員の児童理解に係る、多様な考え方や背景への理解力・対応力・解決力の向上

③ 健康な成長のために必要な生活習慣

- ・一斉健康診断による治癒勧告書を活用した受診・治療
- ・基本的な生活習慣（食事、衛生、睡眠、運動等）に関する児童の体験の多様化

4 経営の具体策

- ・個別最適な学びの実現に向け、ICTの活用を含めた学びの手だてを研修等によって獲得し、実践に生かす。（①②）
 - ・特別支援巡回指導教員やことばの教室の教員による職員研修の充実を図る。（①②）
 - ・個に応じた家庭学習の工夫により学習を習慣化し、学ぶ楽しさを体感させる。（①②）
 - ・学びの意欲を支える放課後学習教室等の活用と充実。（①②）
 - ・週2回の朝読書時間の設定。学校図書館及び学級文庫の充実。図書委員による読書推進活動とPTAの読み聞かせサークルとの協働。（①②）
 - ・休み時間や清掃時間等、授業外でのALTとの交流の場を設定し、外国語の習得への意欲と実践力を高める。（①②）
 - ・「本物体験」での課題意識を高め、学びへの関心・意欲の向上を図る。（①②）
 - ・学年に応じた環境教育や福祉教育を通して、思いやりの心と行動力を育てる。（①②）
 - ・異年齢、多年齢でのかかわりが経験できる活動の工夫と充実を図る。（②③）
 - ・幼保小、七五三（三中・五小・七小）、福生高校、福祉協議会等、地域とのかかわりや連携を重視し、児童の身の回りにいる信頼できる人を増やす。（②③）
 - ・特別支援教育の理解教育を保護者・児童に向け行い、特別支援教育への理解を深める。
 - ・互いに支え合い助け合うことで成功体験を積むことができるよう、学級・学年・学校で様々な機会を設定するとともに、適切な価値付けをする。（②）
 - ・なわ跳び、持久走、全校遊び等を工夫し、仲間とともに運動をすることにより楽しさを体感させることで、運動への意欲を高める。（②③）
 - ・健康な体づくりへの具体的な行動化につながるよう児童への健康教育の推進を図る。
- 加えて、通信や保護者会などを活用し、保護者に情報提供と協力要請を行う。（③）

※保護者会、公開、広報等の工夫で、より開かれた学校を目指す。（①②③）

5 年度末のチェックポイント

- ・家庭学習への取り組み方や定着状況
- ・読書量（冊数、ページ数、読書時間、活用頻度、内容の理解等）
- ・児童、保護者、地域、職員による学校評価における達成度目標90%
- ・治癒勧告対応目標100%
- ・保護者会等への参加者数、学校評価への回答数の向上（前年度比）

